

# ラボの作業自動化

## ロボットシステム開発

日立など



高度な位置制御技術で試験管を的確につかみ作業する

ラボの作業はお任せ。日立製作所、日立プラントメカニクス（山口県下松市）は、自律移動ロボットと双腕ロボットを組み合わせ、試験の取り出しや調合、検査結果入力など一連の作業を自動化

できるロボットシステムを開発した。高度な位置制御技術で試験管を的確につかみ作業する。システム構築込みで2000万〜3000万円の価格で提案する。将来は海外にも展開する。

日立プラントメカニクスは自律移動ロボット「ハイモベロ」と力ワダロボティクス（同中央区）の双腕ロボット「ネクスステージ」を組み合わせた。ハイモベロは簡単なマークを手がかりに10ミ以内の誤差で停止する。ネクス

ステージも位置ズレを補正する機能を備え、ラボ内を動き回りつつ的確に作業をこなせる。キーボードを押してパソコンへのデータ入力も行う。システム提案を担う

日立ハイテクノロジー（東京都港区）は「試験を使った研究開発だけでなく、工場の組み立て作業などユーザーニーズに応じて多様な工程向けで提案していきたい」としている。